

湘南まちいくプロジェクト

2014 年度 事業報告書

2015 年 7 月

〒227-0044 神奈川県横浜市青葉区もえぎ野 15-50

[e-mail] info@shonan-machiiku.com [URL] <http://shonan-machiiku.com/>

2014.4.1～2015.3.31

団体概要

■概要

湘南まちいくプロジェクトは、高校生一人ひとりが「まちのつくり手」になってほしいという願いから、高校生がまちに参画する機会を湘南地域で幅広く作っていく、大学生・院生や若手社会人などによるプロジェクトです。

■目的

高校生がまちに参画する機会を幅広く展開することを通して、湘南地域の「まちのつくり手」を育ていく。

■事業内容

- (1) 高校授業実践協力事業：湘南地域の高校で、生徒が地域課題解決に取り組む授業への協力を行う。
- (2) 高校生課外活動事業：高校生を対象に、地域への参画の機会を提供する（「まちつくクラブ in 湘南」）。
- (3) 行政連携・協力事業：行政による、高校生の地域・社会参画の取り組み等への協力を行う。
- (4) 啓発・提言事業：子ども・若者参画やシティズンシップ教育等に関する勉強会・報告会などを実施する。

■組織概要・体制

- ・代表 古田 雄一（筑波大学大学院博士後期課程）
- ・副代表 金子 美穂
- ・会計 大越 実花
- ・支援者 笹井 宏益（国立教育政策研究所）
- ・2014 年度会員数 15 名
- ・設立 2012 年 8 月

(1) 高校授業実践協力事業

■湘南学園高等学校 高1 総合学習サポート

2014 年度、新たに私立・湘南学園高等学校（藤沢市）の高校 1 年生「総合学習」のサポートをさせていただきました。具体的には、総合学習委員の生徒のサポート、授業のサポート、授業を経て生徒たちから自発的に生まれた活動のサポートと、多岐にわたる協力をさせていただきました。本年度の高 1「総合学習」は、「Stop! Survival! Game!」を共通テーマとし、基本的人権にかかわる現代社会の様々な問題について、班に分かれて調べ学習やフィールドワークを行い、理解や問題意識を深めることをねらいとする内容であった。

1) 総合学習委員のサポート（5 月～7 月）

教員とともに総合学習の企画立案・運営を中心的におこなう、「総合学習委員」を務める高 1 生 11 人を対象に、計 3 回にわたり、企画立案のサポートや、委員への研修を兼ねたフィールドワークの体験を行った。

[日程] 2014 年 5 月 25 日(月)、6 月 29 日(土)、7 月 7 日(月)

[参加者] 総合学習委員の高 1 生 11 名

[内容]

- ① 総合学習で取り組むテーマや、各テーマで実施できそうなフィールドワークなどについて、弊団体のメンバーと総合学習委員の生徒での意見交換を実施した。(5 月 25 日)
- ② 委員自らが、フィールドワークを体験して学び、フィールドワークのイメージを掴むため、辻堂駅周辺と大船駅周辺の二手に分かれ、まち歩きを通じた地域課題の発見に取り組んだ。さらに、見つけた課題に対して、自分たちに何ができそうか議論を重ねた。

2) 総合学習の授業のサポート（9 月～10 月）

総合学習の授業のサポートに入り、生徒たちがフィールドワークの内容や訪問先等を考えるサポートを行った（9 月 22 日）。また、発展的・意欲的なフィールドワークに取り組みたい班については、放課後を利用して相談に乗る時間を設け、より細やかなサポートを行った（10 月 15 日）。

3) 自発的活動のサポート（1 月～3 月）

総合学習で問題関心を高めた班が、その後自発的に立ち上げた活動のサポートを行った。この班は、「女子高生（高校生）によるまちづくり」に関心をもった生徒 6 人が、実際に自分たちでも何かまちづくりの活動をしてみたいという経緯から、活動を立ち上げることとなった。

[日程] 2015 年 1 月～3 月（※2015 年度も継続中）

[参加者] 高 1 生 6 名

[内容・経過]

いくつか取り組みたいテーマの中から、「江ノ電」にかかわる問題に取り組むことに決めた。事前のリサーチを通して、地元の利用者よりも観光客の声が優先されやすいのではないかと感じ、朝晩のダイヤや車両数の問題などについて、学校内でのアンケートを実施。今後町内会・自治会などにもアンケートを依頼し、幅広い利用者の声を集め、それをもとに江ノ電と話し合いの場を設けられないか検討している。

(2) 高校生課外活動事業

■まちつくクラブ in 湘南

2014 年度も、前年度に引き続き、湘南地域の高校生を対象とした社会教育プログラム「まちつくクラブ in 湘南」を実施した。「まちつくクラブ in 湘南」は、藤沢・鎌倉を中心とする湘南地域在住・在学の高校生が、学校を越えて集まり、グループに分かれてまちの課題の解決に取り組む企画を立案し、実行するという活動である。活動では、弊団体のメンバーが、サポーターとして高校生の活動を支える役割を担った。概要は以下の通りである。

[期間] 2014 年 6 月 14 日 (土)～12 月 31 日(水)

[参加者] 高校生 7 名 (2 年生 1 名、3 年生 6 名)

[参加者所属校] 金井高校、三浦臨海高校、川崎工科高校、横浜隼人高校 ほか

[主な活動拠点] 藤沢市市民活動推進センター、藤沢青少年会館、かながわ県民活動サポートセンター 等

[主催・共催・協力・後援]

主催：湘南まちいくプロジェクト

共催：公益財団法人藤沢市みらい創造財団（共催支援事業）

協力：認定特定非営利活動法人 藤沢市市民活動推進連絡会

認定特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議

神奈川のふれあい教育推進連絡協議会

後援：藤沢市

本年度は、事前にテーマを設定せずに、高校生自身の関心を丁寧に引き出すところから活動を始めた。その中で、次第に見えてきた高校生たちの問題意識が、親子の会話の少なさであった。そこで、親子の会話のきっかけとなる場を作れないかと考えた結果、親子を対象としたジェルキャンドル作りの教室を開催することとなった。アドバイザーを務めていただいた、桜井光さん（認定特定非営利活動法人藤沢市市民活動推進連絡会）にもご協力いただき、イオン藤沢店のイベントスペースをお借りして、9 月に以下の通り企画を実施した。

[企画名] 親子で作る小さな世界 ～高校生と一緒に作るジェルキャンドル～

[日時] 2014 年 9 月 13 日 (土) 10 時～15 時

[場所] イオン藤沢店 1 階イベントスペース

[参加者数] 親子等 38 組・約 80 名

また、一連の活動が終了したのち、11 月には以下の通り、活動報告会「まちレポ!!」を実施した。

[日時] 2014 年 11 月 9 日(日) 14:00～16:00

[場所] 善行公民館 第 2 談話室

[参加者] 8 名

(3) 行政連携・協力事業

■「ふじさわ未来プロジェクト」への当日ボランティア参加

公益財団法人藤沢市みらい創造財団が主催する、2014 年度「ふじさわ未来プロジェクト」の活動に、当日ボランティアスタッフとして弊団体のメンバー1 名（石原遼）が参加した。この企画は、藤沢市内の小学生を対象としたプログラムで、参加者は、藤沢のまちに関する学習に加え、架空のまちの模型を作り、発表会を行った。

[日程] 2014 年 10 月 25 日（土）～26 日（日）、11 月 15 日（土）、11 月 16 日（日）

[場所] 藤沢市少年の森、大道小学校体育館

(4) 啓発・提言事業

(2014 年度は該当事業なし。)

※2013 年度～2014 年度にかけて、藤沢市青少年問題協議会において、弊団体代表・古田が委員を務めた。

同協議会の協議結果は、報告書「平成 25 年度・26 年度 ふじさわ子ども・若者計画 2014 における重点的な取組について ～子どもの社会性を育み、若者の自立を支援する～」にまとめられ、公表されている。

(5) その他

■各種講演等登壇

・2014 年 7 月 19 日（土）「第 33 回 NPO 交流サロン ワカモノが街を創る！」（主催：藤沢市市民活動推進センター）

・2014 年 9 月 6 日（土）「湘南×Teens ～10 代はまちといかに関わることができるか～」

（主催：慶應義塾大学 中島直人研究室）

■大学でのゲスト講義

・2015 年 1 月 8 日（木）横浜国立大学 金馬国晴先生講義

2014 年度の総括と 2015 年度に向けて

2014 年度は、主幹事業「まちつくクラブ in 湘南」に加え、新たに湘南学園高等学校の教育活動への協力も開始し、充実した一年となりました。ゆっくりとした歩みではありますが、こうして活動を広げることができたのも、日頃より私たちの活動を支え、また応援して下さっている皆様のおかげです。改めて御礼申し上げます。

最近では、18 歳選挙権が実現するなど、若者の政治・社会参加への注目は一層高まりつつあります。そうした中で、高校生が「まちのつくり手」となれる活動と学びの機会を作り上げていくことは、今後ますます重要になるでしょう。こうした機会を少しでも多くの高校生に届けられるよう、さらに力を尽くしていきたいと考えております。

しかし、私たちの活動には、課題も数多くあります。例えば、高校生や関係者への認知度が限られている点や、大学生をはじめとする若いメンバーによるボランタリーな活動ゆえ、活動の安定性の確保が難しい点など、取り組むべき課題は少なくありません。そうした課題も受け止めながら、より良い活動を展開すべく、研鑽を重ねてまいりますので、今後とも皆様のご協力とご指導を賜りますよう、引き続きよろしく願い申し上げます。

湘南まちいくプロジェクト
代表 古田 雄一